

神奈川県立図書館



平成 27 年度神奈川県立図書館県民公開講座

平成 27 年 12 月 16 日 (水)

13 : 30 ~ 15 : 00

レコード鑑賞会(2)

神奈川県立図書館 4 階セミナールーム



バーンスタインの

「第九」

を聴く



本日の鑑賞曲

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

交響曲第 9 番二短調 作品 125《合唱》

ギネス・ジョーンズ (ソプラノ)、ハンナ・シュヴァルツ (アルト)

ルネ・コロ (テノール)、クルト・モル (バス)

ウィーン国立歌劇場合唱団員

(合唱指揮：ノーベルト・バラッチュ)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

指揮：レナード・バーンスタイン

1979 年 ウィーン国立歌劇場

本日ご鑑賞いただくレコードは、1970年代終わりにバーンスタインとウィーン・フィルハーモニー管弦楽団によるベートーヴェン交響曲全集に収録されている《交響曲第9番》です。この全集は1977～1979年に行われた公開演奏会の実況録音です。バーンスタインは1969年に11年間務めてきたニューヨーク・フィルの音楽監督を辞任し、その後は、ウィーン・フィルを中心に主にヨーロッパで客演指揮活動を積極的に行いました。アメリカ人指揮者と、ウィーン・フィルという最も個性のあるオーケストラが理解を深め合った結果生み出されたベートーヴェン交響曲全集だと言われています。この全集は、1980年に音楽の友社の「交響曲部門レコードアカデミー賞」を受賞しています。あらゆる指揮者のベートーヴェン交響曲全集の中でも、最高の名演に属するものだと評価されています。

バーンスタイン指揮、ベートーヴェン《交響曲第9番》の視聴覚資料は当館に4つの録音資料があります。 *カッコ()の中は、請求記号、配架場所、資料番号を表しています。

■本日演奏の1979年 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団演奏の資料

【LPレコード】『ベートーヴェン 交響曲全集』Deutsche Grammophon 1980

(CLP11/446/1043 視聴覚資料室・書庫 42033969)

『交響曲 第9番 二短調 Op. 125「合唱」』Deutsche Grammophon 1980

(CLP11/1233/1580 視聴覚資料室・書庫 42046466)ほか

【CD】『交響曲 第9番』POLYDOR 1980

(CD 11/ヘト 視聴覚資料室 41237223)

【レーザーディスク】『バーンスタイン／ベートーヴェン交響曲全集』POLYDOR RECORD 1993 (No.9 133分)

(LD76.1/168 視聴覚資料室・書庫 常置 41071283)*貸出不可(館内視聴)

■1964年 ニューヨーク・フィルハーモニック演奏の資料

【LPレコード】『交響曲 第9番 二短調 Op. 125「合唱」』CBS SONY RECORDS 1978

録音:1964.5.18 マンハッタンセンター

(CLP11/1235/1582 視聴覚資料室・書庫 42046482)

【CD】『交響曲 第9番 二短調 作品 125:合唱;フィデリオ. 序曲:歌劇:作品 72b』SONY CLASSICAL 1970

録音:1964.5.18 ニューヨーク マンハッタンセンター, 1967.1.10&31 リンカーンセンター

(CD11 /ヘト 視聴覚資料室 41135922)

■1970年 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団との演奏資料 (ベートーヴェン生誕200年祭)

【レーザーディスク】『レナード・バーンスタインの偉大なる遺産』東芝EMI 1993 (交響曲第9番/78分)

録音:1970年ウィーン・コンツェルトハウス

(LD76.1/173 視聴覚資料室・書庫 常置 41071291) *貸出不可(館内視聴)

■1989年 自由のコンサート(東西ドイツ統合・ベルリンの壁崩壊記念コンサート)

【CD】『交響曲 第9番 二短調 Op. 125「合唱」』Deutsche Grammophon 1990

バイエルン放送交響楽団、ドレスデン国立管弦楽団員、ニューヨーク・フィルハーモニック団員、ロンドン交響楽団員、レニングラード・キーロフ劇場管弦楽団員、パリ管弦楽団員

録音:1989.12.25 東ベルリン、シャウシュピール・ハウスにおけるライブ・レコーディング

(CD11 /ヘト 視聴覚資料室 41087164)

第4楽章の歌詞「よろこび」を「自由」に変えて歌われている

レナード・バーンスタイン

Leonard Bernstein (1918.8.25 – 1990.10.14)

アメリカの作曲家、指揮者、ピアノ奏者、教育者。バーンスタインは、自らを音楽家と言っている。アメリカで生まれ、アメリカで教育を受けて大成した最初の大指揮者である。

レナード・バーンスタインは1918年8月25日ボストンのローレンスで生まれる。父サミュエル・バーンスタインと母ジェニーはロシア出身のユダヤ系移民である。父親は、理容・美容のビジネスで成功を収めている。喘息持ちで体が弱くよく泣く子供であったが、母親の蓄音機で音楽をかけると、びたりと泣き止み、リズムカルに音楽の拍子をとっていたという。レナード10歳の時に、父の妹、クララがバーンスタイン家にアップライトのピアノを預けていった。レナードはピアノに夢中になり、ラジオで耳にした音をまね、あっとい間にその演奏は家族を楽しませるまでになったという。音楽家になることを父に反対されながらも、ピアノを学び続ける。ボストン・ラテン・スクールを優秀な成績で卒業、ハーヴァード大学に入学。音楽だけでなく、哲学、文学、歴史にも興味を持つ。卒業後、カーティス音楽院で学ぶ。ハーヴァード大学のウォルター・ピストン、指揮者ディミトリ・ミトロプーロス、作曲家アーロン・コープランド、指揮者クラーセヴィツキーなど、バーンスタインの人生に影響を与える人物たちと出会う。ニューヨーク・フィルの音楽監督ロジンスキーに招かれ、1943年8月25日、ニューヨーク・フィルの副指揮者に就任。11月14日指揮者ブルーノ・ワルターが急病のため代役を務め、その演奏は大成功し全米でラジオ放送されたこともあり、伝説的なデビューを飾る。その後、アメリカで客演指揮者として、さらにヨーロッパのオーケストラからも客演依頼を受け指揮活動が始まる。1947年には初めてイスラエルで指揮し、1953年には、アメリカ人として初めてミラノのスカラ座で指揮し、マリア・カラスと共に観衆を沸かせた。この時期、指揮者としてのキャリアを積む一方で、『タヒチ島の騒動』、『キャンディード』、『ウエスト・サイド物語』など作曲活動も積極的に行っている。1957年、ミトロプーロスと共にニューヨーク・フィルの首席指揮者を務め、1958年には、ニューヨーク・フィルの音楽監督に就任。名実ともにバーンスタイン時代が始まる。アメリカはもちろんのこと、ヨーロッパ、日本でも、指揮者として作曲家として、マスコミの脚光を浴び続けるようになる。クラシック音楽を子供たちに伝える「ヤング・ピープルズ・コンサート」は53回にまで及び、40以上の国でテレビ放送され教育者としての才能も発揮する。バーンスタインとニューヨーク・フィルの演奏は人気を獲得し、数多くのレコーディングも実現した。1960年代に完成したマーラーの交響曲全集は、世界初の偉業である。まさにニューヨーク・フィルの黄金時代を築き上げた。1969年ニューヨーク・フィルの音楽監督を辞任。以来、作曲に専念する一方、ウィーン・フィルを中心にヨーロッパの主要オーケストラの客演指揮活動を積極的に続け、20世紀後半を代表する世界的指揮者となる。晩年は教育活動に携わり、タングルウッド音楽祭やドイツのシュレスヴィヒニホルシュタイン音楽祭で若い音楽家を指導。1990年には、札幌でパシフィック・ミュージック・フェスティバルを創設した。著書のうち、『音楽のよるこび』と、『バーンスタイン音楽を語る』は、音楽の優れた啓蒙的ガイドブックである。作曲では、劇場作品以外にも、三つの交響曲《エレミア》、《不安の時代》、《カディッシュ》、バレエ音楽《ファンシー・フリー》などのオーケストラ作品、映画音楽では《波止場》、その他、歌曲、合唱曲など多ジャンルにわたった作品がある。1990年10月14日自宅にて永眠。グリーンウッド墓地の妻の隣で、指揮棒とマーラーの5番のスコアと共に。

参考資料『レナード・バーンスタイン』アルファベータ 2001 ポール・マイヤーズ 著、石原俊 訳
(請求記号 762.53/10 書庫)

『バーンスタインの生涯』上・下 福武書店 1994 ハンフリー・バートン 著、棚橋志行 訳
(請求記号 762.53/4/1・2 書庫)

♪♪♪ バーンスタインに関する所蔵資料のご案内 ♪♪♪

バーンスタインに関する資料は図書、視聴覚資料、ともに多数所蔵しております。そのうちの一部をご紹介します。視聴覚資料（CD、LP、DVD、レーザーディスク）は、視聴覚資料室で視聴（9：00～17：00）できます。*カッコ（ ）内は、請求記号、配架場所、資料番号を表しています。

図書

『音楽のよろこび』レナード・バーンスタイン 著、吉田秀和 訳、音楽之友社 1966
(760.4/420 書庫)

1954年11月14日から1958年3月23日までテレビ放送されたCBS番組「オムニバス」の台本内容。バーンスタイン初の著書。

『バーンスタイン音楽を語る』レナード・バーンスタイン 著、岡野弁 訳、全音楽譜出版社 1972
(760.4/75 書庫)

クラシック音楽を一般聴衆にわかりやすく解説したバーンスタイン2冊目の著書。1959年から1961年までの5回のテレビ放映の台本内容も含まれている。

『答えのない質問』レナード・バーンスタイン 著、和田旦 訳、みすず書房 1978
(761.1/31 書庫)

1972～73年ハーヴァード大学のチャールズ・エリオット・ノートン講座の6回の講演内容。一部の内容がレコードに収録されており、バーンスタインの肉声を聴くことができる。

『バーンスタインわが音楽的人生』レナード・バーンスタイン 著、岡野弁 訳、作品社 2012
(762.53/32 公開)

バーンスタイン自らが編纂した最後の著作。唯一の自伝的作品。

『バーンスタイン その音楽と家族』バートン・バーンスタイン 著、須加葉子 訳、新潮社 1986
(762.3/31 書庫)

弟バートンがバーンスタイン家の家族、環境、教育、更には先祖のルーツにまでさかのぼり、家族のあり方について記している。家族が一堂に会してとった1962年の家族写真が収められている。

CD バーンスタイン 作曲作品

『バーンスタイン自作自演集』CBS SONY RECORDS 1965
(CD10/ハン 視聴覚資料室 40076739)

レナード・バーンスタイン 指揮、ニューヨーク・フィルハーモニック

3つの交響曲、オーケストラ演奏の《ウェスト・サイド物語》、バレエ《ファンシー・フリー》などバーンスタインの代表作を収録。《カディッシュ》の語りは、バーンスタインの妻フェリシア・モンテアレグレ。

『ウェスト・サイド・ストーリー』Deutsche Grammophon 1982
(CD26/ハン 視聴覚資料室 41084070)

レナード・バーンスタイン 指揮、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

シェイクスピアの「ロメオとジュリエット」を現代物に翻案したミュージカル。1957年に初演。ミュージカルの常識を破った革命的な作品。その後映画化され、今なお最高傑作の一つとして位置付けられている。

『ワンダフル・タウン:ミュージカル』EMI 1999
(CD26/ハンス 視聴覚資料室 41092222)

サイモン・ラトル 指揮、キム・クリズウェル、オードラ・マクドナルド ヴォーカルほか
演劇「私の妹アイリーン」をミュージカル化した作品。1953年初演。

C D バーンスタイン 指揮

『交響曲 第3番』 Deutsche Grammophon 1986

(CD11/コフ 視聴覚資料室 40077984)

アーロン・コーブランド 作曲、 ニューヨーク・フィルハーモニック

コーブランドは、1937年にバーンスタインと偶然に出会い、その後、生涯を通じて親交を深めた作曲家。コーブランド85歳の年にバーンスタインが指揮したライブ録音。

『交響曲 第5番 嬰ハ短調』 Deutsche Grammophon 1988

(CD11/マ-ラ 視聴覚資料室 41098450)

グスタフ・マーラー 作曲、 ニューヨーク・フィルハーモニック

バーンスタインが最も情熱を傾けた作曲家。同シリーズで交響曲第2番、3番を所蔵。

『バーンスタイン最後の演奏会』 Deutsche Grammophon 1992

(CD11 /ハト 視聴覚資料室 41098443)

ベンジャミン・ブリテン 作曲、 ベートーヴェン 作曲、 ボストン交響楽団

1990.8.19米・タングルウッド音楽祭でのピーター・グライムズ(抜粋)とベートーヴェン交響曲第7番。
バーンスタイン最後の指揮演奏。

L P レコード

『バーンスタイン:ミサ曲』 CBS SONY RECORDS

(CLP18/7 視聴覚資料室・書庫 40096273)

レナード・バーンスタイン 作曲/指揮、 ノーマン・スクリブナー合唱団 & バークシャ少年合唱団

1971年ケネディーセンター落成記念演奏会で初演。現代人のためのミサ曲。

『バーンスタイン:交響曲 第1番「エレミア」』 Deutsche Grammophon 1978

(CLP11/M1506 視聴覚資料室・書庫 40012908)

レナード・バーンスタイン 作曲/指揮、 イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

「エレミア」は父に捧げた交響曲。1965年初演のチチェスター詩編も収録。

『マーラー:交響曲「大地の歌」』 CBS SONY RECORDS 1972

(CLP11/963/1880 視聴覚資料室・書庫 42045153)

グスタフ・マーラー 作曲、 レナード・バーンスタイン 指揮、 イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団

1972年5月 フレデリック・マン・オーデトリウム(テルアヴィブ)での録音。

レーザーディスク *貸出不可(館内視聴)

『バーンスタイン/最後のメッセージ』 ソニーレコード 90分

(LD76.1/439 視聴覚資料室・書庫 常置 41147943)

レナード・バーンスタイン 指揮、 パシフィック・ミュージック・フェスティバル・オーケストラ

収録曲: シューマン作曲《交響曲第2番 ハ長調 作品61》1990年7月3日、札幌。

『ウェスト・サイド物語』 ワーナー・ブラザーズ・ジャパン 1961年 152分

(LD79.12/415 視聴覚資料室・書庫 常置 41147521)

ロバート・ワイズ 監督、 レナード・バーンスタイン 音楽、 ナタリー・ウッド、リチャード・ベイマー/出演 ほか

アメリカのミュージカル映画史にのこる名作。ミュージカル映画劇場公開版。

D V D *貸出不可(館内視聴)

『答えのない質問 Lecture. 1, 2』 2005 105分/96分

(DV76/ハン 視聴覚資料室 常置 41262775)

ジュゼッペ・ヴェルディ 作曲 ほか、 レナード・バーンスタイン 指揮、 ボストン交響楽団、

ハーヴァード大学での講座内容と実演。Lecture. 3~6所蔵あり。